

令和元年11月11日(月)  
国土交通省関東地方整備局  
霞ヶ浦河川事務所

## 記者発表資料

### 新技術等活用実績表彰制度の新設について

霞ヶ浦河川事務所が発注する工事に関し、新技術や3次元データの活用により建設現場の生産性向上を図る取組をより一層増進させることを目的としました、表彰制度を創設します。

この制度は、当事務所管内の工事に於いて、生産性向上に資する新技術や3次元データの活用に関する取り組みが優れた工事を表彰するものであり、今年度に完成する工事より適用します。

なお、表彰者は当事務所が総合評価落札方式にて発注する工事において、技術力評価が優位になります。

- ◆ 新技術情報提供システム（NETIS）の登録技術は、以下のホームページをご覧ください。

<http://www.netis.mlit.go.jp/NetisRev/Explanation/MainExplanation.asp>

#### 記者発表クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者クラブ、茨城県政記者クラブ、千葉県政記者クラブ  
土浦記者クラブ、鹿島記者クラブ

#### 問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 霞ヶ浦河川事務所

住所：茨城県潮来市潮来 3510

副所長 ひらの かずひこ  
平野 一彦  
工務課長 やまぐち ひろし  
山口 広

電話 0299-63-2411 (代表)

FAX 0299-62-4652

## 「新技術等活用実績表彰制度」

### 3次元データ及び新技術活用生産性向上工事の表彰について

#### 1. 目的

霞ヶ浦河川事務所管内の工事に関し、新技術や3次元データ等の活用により生産性、品質、安全性等の向上を図る取組が優れた工事を選定し、これを表彰することにより、建設生産システム全体の生産性向上等への取組の裾野を拡大し、より一層増進させることを目的とし、新技術を活用した生産性向上への取組が優秀であり、かつ他の模範となる工事を「新技術等活用実績表彰工事」として表彰します。

#### 2. 選定の方法

表彰の対象となる新技術等活用生産性向上工事の選定は、霞ヶ浦河川事務所が発注した工事で表彰対象年度に完成し、施工が優秀であって3次元データや新技術等活用生産性向上に関する取組が優れた工事の中から審査を行い、選定するものとします。

#### 3. 選定方針

- 1) 表彰の前年度に完成した霞ヶ浦河川事務所発注工事であること。
- 2) 当該工事の成績が優秀であること。
- 3) 3次元データや新技術活用による生産性向上に関する取組が総合的に優れたものの。

#### 4. その他

新技術等活用生産性向上工事表彰の受賞者は、霞ヶ浦河川事務所が総合評価落札方式にて発注する工事において、技術力評価が優位になります。

#### (取組事例)

工程	課題	新技術導入の視点
準備	環境負荷の発生により、地域社会からの苦情が発生、調整と対策が必要となり、現場が停滞	環境負荷低減可能な工法採用により、現場停滞を回避（騒音振動、粉塵の発生、有害物質、自然保全等）
安全	工事事故の発生により、検証、対策検討が必要となり、現場が停滞	安全確保の高度化により、現場停滞を回避（架空線切断、接触事故等）
盗難	現場の盗難により、資機材の再調達が必要となり、現場が停滞	盗難防止の強化により、現場の停滞を回避（現場管理の徹底）
施工 (工程管理)	作業員の確保が出来ず作業が遅れ、週休2日制が実施できない	工期を短縮可能な工法採用により、週休2日制を実現（省力化、工期短縮）
施工 (施工管理)	施工不良により機能障害が発生、修補が必要となり、現場が停滞	施工を確実にし、品質を向上させる資材を採用して、現場停滞を回避（施工の確実性）
施工 (品質管理)	品質管理を怠ったことにより、やり直し施工が生じ、現場が停滞	品質管理を簡素化また省力化することにより、人為的ミスを低減し、現場停滞を回避（品質管理の簡素化）